

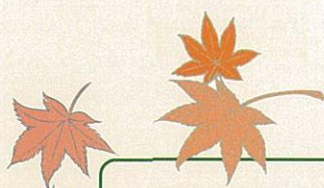


那須烏山市立野上小学校

閉校記念誌

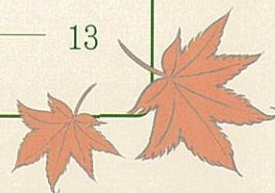


那須烏山市立野上小学校閉校準備委員会



目 次

1	あいさつ	
	・市 長	1
	・教育長	2
	・野上代表自治会長	3
	・PTA会長	3
	・校 長	4
2	野上小学校の沿革の概要	5
3	歴代校長	6
	歴代PTA会長	6
	歴代校医	7
	歴代職員	8
4	児童数の推移	12
5	思い出写真集	13





野上小学校閉校に寄せて

那須烏山市長 大谷 範雄

那須烏山市立野上小学校閉校にあたりましてご挨拶を申し上げます。

昭和32年向田尋常小学校野上分教場として産声を上げて以来、教育指標“明るく、清く、たくましく”の基、閉校まで約100年間余りの歴史に終止符を打ち、新たな学校組織の中で、新制那須烏山市と共に新たな道を歩むこととなりました。開校以来あまたの先人達により構築されました歴史と伝統は永久に語り継がれていくこととなりましょう。

幾多の変遷を遂げられ、多くの優秀なる諸先輩そして人材を輩出されてきた当校にありまして、PTA、卒業生、地域の皆様及び関係各位の気持ちを察する時、万感、胸にせまるものがございます。その伝統を築き上げられた中には、80、100周年記念事業や昭和63年には優良子ども銀行として知事表彰、平成15年にはアルミ缶回収功労団体表彰、翌年には健康推進学校優良校として表彰を受けるなど素晴らしい郷土教育振興を展開していただきました。併せて、PTA活動も活発でありまして、平成16年にはその功績が認められ文部科学大臣表彰の荣誉に輝きました。改めまして、諸先輩、関係各位に感謝と敬意を表する次第でございます。

平成17年10月1日、旧南那須町と旧烏山町が合併し、県内14番目の市として那須烏山市が誕生しました。

わが郷土那須烏山市は、緑の山々、清らかな河川、肥沃な大地、豊かな自然環境に恵まれ、歴史と文化が息づく「活力と安らぎの文化交流都市」です。栃木県東部、首都圏150キロメートル圏内にあり、合併当初の人口は約3万2千人、面積は約174平方キロメートル。県都宇都宮市からはJR烏山線が通じ、列車でも車でも約50分の位置にあります。宇都宮テクノポリスに隣接する適度な利便性を備えながら、美しい里山と豊かな自然、「山あげ祭」をはじめとする貴重な文化遺産を今

に伝える「ニッポンのふるさと」です。

なかでも、教育対策は、少子化対策の一環として力を入れています。というのも、子どものいる若い世代の定住を進めるには、教育向上が欠かせないからです。まずは、幼児教育、義務教育の高度化に向けて、独自の政策を進めています。その一環が、学力向上対策としてサタデースクールや外国語教育や郷土教育の推進です。

そして、家庭教育も大切な分野です。「衣食足りて礼節を知る」という言葉があります。日本は、戦後の苦難を乗り越えて発展を遂げ、豊かで恵まれた社会を構築しました。しかし、その豊かさと引き換えに失ってしまったものがあります。礼節や道徳など、古くから尊重されてきた日本人の心です。それを取り戻すには、家庭教育を重視することがなにより必要です。

環境保全対策は、那須烏山市の誇りでもある豊かな自然環境を保護するためにも欠かせません。住民参加による環境保全運動や、二酸化炭素排出削減にも期待できる森林整備、一般廃棄物の再利用化などにも取り組んでいます。また、子どもたちが自然に関心を持ち、自然を守る活動につなげていける教育にも力を入れます。たとえば、林業関係者と連携して行う育樹祭での枝打ち体験やシイタケのコマ打ち体験、間伐材を利用した木工など、ここでしか出来ない体験を授業の中に取り入れていければと考えています。

新たな時代を担う子ども達にとりまして、今、正に学校統合再編は子ども達の日線でもって考える時であります。野上小学校の統合再編計画を英断をもって適切にご判断されましたPTA・関係者各位・地元住民の皆様方の、子ども達の未来の幸福を祈念した素晴らしいご英断に改めまして敬意を表します。

末尾に新生「那須烏山市」の限りなき発展と野上地区のご隆盛を心からご祈願致しまして閉校にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。



野上小学校の閉校に寄せて

那須烏山市教育委員会教育長 池 澤 進

野上小学校が、100年余に及ぶ歴史の幕を閉じようとしています。時代の趨勢とは申せ、長らく教育に携わる者として感慨を覚えるとともに、市教育行政の責任者として本校の教育を烏山小学校に継承し、育くむべき責務を痛感しております。

本校は、明治32年に向田尋常小学校の野上分教場として始まり、以降、幾度もの改称・学制改革・市町村合併を経て、今日に至ります。

この間、卒業された2,780名は、校訓「明るく、清く、たくましく」を体現され、各方面でご活躍です。卒業生や関係者が故郷を偲ぶ時・かつてを想う時、等しく浮かぶ情景があります。

一つは“かえでの大樹”です。現鉄筋校舎の建設前に伐採されたその切株は今も玄関に飾られ、その名を冠した行事「かえで祭り」など、今なお本校を温かく見守り続けています。その銘木の、硬く、粘りがあり、美しい空を誇る様は、躍進する卒業生の姿を想わせます。

もう一つは、地域をあげた教育の姿です。尋常小学校建築時の資金寄付をはじめ、その後も地域の多大な支援が寄せられました。地域総出の運動会、参加と協力を惜しまないPTA、地域と連携した研究活動。長きに渡り当地に本校を支えたのは、地域ぐるみで、児童を・学校を・絆を育む、まさに「野上の教育力」と言えるでしょう。

一方、本校は折々の学校統合計画に揺さぶられた歴史を有します。昭和30年代には烏山第二小学校への統合が、昭和40年代には向田小との統合が、計画されては不実に過ぎました。野上地区は、烏山、滝・神長、向田・落合の結節点として発展し、道路整備が進み、宅地の連続性が強まっています。しかし、地縁的には昭和の合併以前の向田村として深いものがあるなど、一様の計画は困難だったものと推察します。

近年に至り、続く少子高齢化は烏山町の学校に複式学級等教育活動の阻害をもたらし、平成15年以降学校再編を余儀なくされました。学校問題懇

談会・教育委員会での学校の在りかた検討、時を同じく視点を別にした行財政合理化委員会・審議会の検討とパブリックコメント。これら幾重の意見・提言・答申を受け、町は平成18年から5年以内に3小学校・1中学校に統廃合する計画としました。社会情勢が激変する今日、児童の教育には複数級によって相互に刺激しあう環境が必要です。そのうえで将来の児童数を勘案し、町に1小学校の案も考えました。しかし、遠距離通学と地理的条件を踏まえた場合、この案は早急過ぎるため3小学校案とし、市も当案を継承したのです。

再度の提案に、野上地区は苦悶しました。愛着深い本校閉校は地域の人々にとって断腸の思いです。市には折々多様な意見が寄せられ、幾度も持たれた市との意見交換は難航しました。しかし、最終的には児童の教育環境を優先し、苦渋の決断を賜りました。児童を思い、地域を思う、その真剣な協議に、心より敬意を表したいと存じます。

やむなく閉校となる本校に惜別の念は消えませんが、“かえで”同様、その歴史・伝統は卒業生・地域の方々の心の中に在り続けることでしょう。

また、突出した“野上の教育力”は、今後は烏山小学校において、さらに市全体に拡大し、発展するものと期待して止みません。

結びに、今日までの間、当校を支えて下さった関係者の皆様に深く感謝申し上げ、また、今後の烏山小学校へのご支援をお願いするとともに、さらなる野上地区の発展を祈念申し上げ、寄稿とさせていただきます。



消え行く宝、 野上小学校

野上地区
代表自治会長

水井 守

教育は永遠の宝であるというが、その礎は当地では野上小学校であろう。

野上小学校は、明治37年5月から100年余にわたり、野上地域の子どもの教育の場として貢献されて来ている。卒業生2,780名も送り出し、中には日本企業のトップとなられ日本経済発展のために尽力された方もおられます。

平成17年2月には、野上地域の皆さんや、卒業生の一部の方から多大のご寄付を頂き、100周年記念式典を盛大に開催いたしました。その際には輝かしい永遠の願いを込めた立派な校旗を贈呈したところでした。

その様な地域住民の真意を尊重することなく、行政の一方的な方針で野上小学校を19年度に烏山小学校に統合するという決定は到底納得できるものではありません。

今日まで先人達が血と汗で築いてきた学び舎をそう簡単に譲れるものではなく、ましてや地域の過疎化が進むことを憂いところでございます。

従って、自治会長さんや、野上小学校廃校反対期成同盟の皆さんとで、何回となく行政に存続するよう申し入れたところでした。しかし、行政は、烏山行財政審議会や、烏山町議会でも廃校反対の陳情書を否決していると言って応じてくれませんでした。小学校の統合は、複式学級を解消することが本来の目的でした。ところが一部の歪んだ人達によって本来の目的が変更されたことに多くの憤りを抱くものでございます。

平成18年2月野上地区自治会の臨時総会に於いて、野上小学校の統合には『時期尚早』と決定されました。私達自治会長はその決定に最善の努力をしましたが、力足らずで実現できなかったことを深くお詫び申し上げますと共に、反対に協力頂いた方々にお礼と感謝を申し上げます。



さようなら カエデの学び舎

那須烏山市立野上小学校
PTA会長
(閉校準備委員会委員長)

寺門 浩章

私達人間には寿命というものがあります。しかしながら私は今日まで学校は未来永劫生き続けるものと考えておりました。今回野上小が102年で生涯を終えることが今でも信じられません。

私の家には学校から色々な音が聞こえてきました。登下校の通学路、昼休み・体育の時間に校庭から、放課後・休日のスポーツ少年団のホイッスルの響き、アルミ缶回収時のアルミ缶を潰す大きな音、そして運動会の大歓声、すべて学校が生きている証でした。

私の家は親子三代野上小の卒業生です。小学校の時、学校には大きな楓の木があり、正に「生」の象徴でした。その楓がなくなり、桜の木もなくなってしまいましたが校舎は新築されました。100年余の長い一生の間に野上小学校は少しずつ形を変えていきました。

そして今回の烏山小学校への統合、そして野上小学校の廃校で、学校の外側には変化はありませんが、実体は劇的に変化を致しました。今後この廃校により子ども達に、地域生活にどのような影響があるのか想像もできませんが、私達にできるのは、学校の跡地に学校に遜色のない素晴らしい施設ができることを行政側に要請することにあると考えております。それも早急な対応が必要であります。抜け殻のまま放置されるのはあまりにも寂しい思いが致します。新しい施設に子ども達が、保護者が、自治会が、長寿会の皆様が再度集い、あの元気の歓声が聞こえる場所になってもらいたいと切望致します。

最後に私自身図らずも最後のPTA会長となってしまうましたが、二年間のPTA活動を支えていただきました本部役員、教職員、学校関係者、PTA会員、自治会、そして野上っ子のすべての皆様に深く感謝申し上げます。

さようなら、そしてありがとう野上小学校



閉校に寄せて

那須烏山市立野上小学校長 滝口 節子

2年前に、自治会やPTAの皆様と共に、本校の創立100周年を盛大に祝い、寄贈いただいた立派な校旗を前に、本校の益々の発展を願ったことも、今では懐かしい思い出になってしまいました。

明治37年5月28日に、向田尋常小学校野上分教場から独立して野上尋常小学校が誕生し、その後、学制改革等幾多の変遷を重ね、昭和29年の町村合併で烏山町立野上小学校に、平成17年の二町合併で那須烏山市立野上小学校と名称を変え、そして平成19年3月31日をもって長い歴史の幕を閉じることとなりました。

明治、大正、昭和、平成の各時代それぞれに、本校の教育に情熱を傾けてこられた多くの教職員の皆様、そして、創立当初より温かく見守り支えてくださった地域の皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

これまでの本校の卒業生は2,780名。地元や全国各地で活躍されておられたり、学校で勉学に励んでおられたりというように様々ではありますが、どうぞこれからも、野上小学校の卒業生であることに誇りをもって力強く歩んで頂きたいと思います。

また、4月から烏山中学校に進学される6年生の皆さん、そして4月から、烏山小学校で学ぶ1年生から5年生の皆さん、たくさん友達を増やして、楽しく充実した学校生活が送れるようお祈りしています。

野上小学校が、皆様一人一人の心の中に、いつも輝いていることを願いますとともに、今日まで、本校を支えてくださいました全ての皆様に感謝申し上げます、閉校のあいさつといたします。

(閉校に寄せて 五首)

- 伝えたき思いをあまた呑み込みて閉校告知を黙して聞きぬ
- 秋晴れの佳き日となりぬ閉校の告知三日後の運動会は
- 半年で閉校となる忙しさと淋しき日々を雲よ分るか
- 校長室の窓辺の黄菊の間より子が笑いつつ何か告げ来る
- 閉校となるも花壇にチューリップの球根植えぬ秋の終わりに

校歌

作詞 野上小学校
作曲 大貫義一

一、那珂の流れの水清く
山なみ遠かめぐる里
自然の愛につつまれて
明日の理想をかげつ、
明るく強く伸びてゆく
われらのわれらの
野上小学校

二、光すかしい朝の風
楓の園に生き生きと
平和にみちた学び舎に
はえある歴史うけついで
希望あらたに励みゆく
われらのわれらの
野上小学校

野上小学校の沿革の概要

明治32年	3月9日	現在地に間口8間奥行3間半の皮葺の校舎建築。向田尋常小学校野上分教場となる。
明治37年	5月28日	間口11間奥行5間(教室2、教員室1)の校舎改築、野上尋常小学校と改称独立校となる。
大正8年	12月	校旗樹立。(結社有志寄贈)
大正13年	5月20日	高等科併置され、野上尋常高等小学校となる。
大正14年	5月1日	向田尋常高等小学校と改称。
昭和16年	4月1日	学制改革により向田村中央国民学校となる。
昭和22年	4月1日	学制改革により向田村立野上小学校と改称。
昭和29年	4月1日	町村合併により烏山町立野上小学校と改称。
昭和30年	5月	創立50周年記念式典挙行、ピアノ購入。(結社寄贈)
昭和40年	5月3日	統計教育学校優良校として県教育委員会から受賞。
	11月27日	創立60周年記念式典挙行。
		校歌制定
昭和50年	8月	学校プール完成。
昭和54年	6月17日	校舎改築のため、仮校舎へ移転。
	18日	旧校舎解体。
	8月11日	「かえで」伐採。
昭和55年	3月15日	新校舎落成。(鉄筋3階建)
	11月21日	体育館落成。
	12月6日	新校舎体育館落成式典挙行。
昭和60年	11月10日	創立80周年記念式典挙行、ピアノ購入。(結社寄贈)
昭和62年	10月16日	交通安全活動推進優良校として知事表彰を受ける。
昭和63年	4月1日	金銭教育研究校として知事より感謝状を受ける。
	10月31日	優良子ども銀行として知事表彰を受ける。
平成元年	6月15日	道徳実践優良校として県教委より表彰される。
平成4年	3月31日	ランチルーム完成。
平成15年	6月15日	P T A 優良団体として県教委より表彰される。
	10月10日	交通安全功労団体として栃木県警察本部部長・栃木県交通安全協会会長より表彰される。
	10月27日	アルミ缶回収功労団体として アルミ缶回収協会より表彰される。
平成16年	10月20日	リデュース・リユース・リサイクル 推進功労者等表彰を受ける。
	11月19日	優良P T A 文部科学大臣表彰を 受ける。
平成17年	2月19日	創立100周年記念式典挙行。 校旗の寄贈。(結社寄贈)
平成17年	10月1日	町合併により那須烏山市立野上小学校と改称される。
平成19年	3月25日	閉校記念式典を挙行する。
	3月31日	閉校



歴代校長一覽

氏 名	在 職 期 間
岡本 重作	明治37年 5 月～明治39年10月
大野準五郎	明治39年11月～明治41年 3 月
上野 嘉吉	明治41年 4 月～明治42年 8 月
磯田 友七	明治42年 9 月～明治43年10月
五井淵七藏	明治43年10月～大正元年 8 月
澤村徳太郎	大正元年 9 月～大正 9 年 3 月
渡辺三代松	大正 9 年 4 月～大正10年 3 月
安藤 辰三	大正10年 4 月～大正14年 3 月
遅澤 七郎	大正14年 4 月～昭和14年 3 月
津久井彦四郎	昭和14年 3 月～昭和15年 3 月
安藤 辰三	昭和15年 3 月～昭和17年 3 月
高野 錦一	昭和17年 3 月～昭和22年 3 月
大山 英一	昭和22年 3 月～昭和28年 3 月
萩原 正	昭和28年 4 月～昭和34年 3 月
尾形 勝	昭和34年 4 月～昭和39年 3 月

氏 名	在 職 期 間
鈴木 慶次	昭和39年 4 月～昭和42年 3 月
田村 清夫	昭和42年 4 月～昭和47年 3 月
大木 好文	昭和47年 4 月～昭和52年 3 月
田村 一郎	昭和52年 4 月～昭和54年 3 月
樋山 洋	昭和54年 4 月～昭和59年 3 月
磯 松雄	昭和59年 4 月～昭和61年 3 月
林 昭	昭和61年 4 月～昭和63年 3 月
龍福 宏明	昭和63年 4 月～平成 2 年 3 月
平野 英清	平成 2 年 4 月～平成 4 年 3 月
小池 健	平成 4 年 4 月～平成 6 年 3 月
檜山 秀雄	平成 6 年 4 月～平成 8 年 3 月
小林 博	平成 8 年 4 月～平成10年 3 月
渡邊 綱男	平成10年 4 月～平成16年 3 月
滝口 節子	平成16年 4 月～平成19年 3 月

歴代PTA会長一覽

氏 名	在 職 期 間
佐藤 此寿	昭和23年 4 月～昭和24年 3 月
川上 主計	昭和24年 4 月～昭和30年 3 月
佐藤 実	昭和30年 4 月～昭和32年 3 月
川俣 行孝	昭和32年 4 月～昭和34年 3 月
水井 正男	昭和34年 4 月～昭和40年 3 月
寺門 浩一	昭和40年 4 月～昭和44年 3 月
水井 充	昭和44年 4 月～昭和45年 3 月
佐藤 安男	昭和45年 4 月～昭和48年 3 月
鈴木 義男	昭和48年 4 月～昭和50年 3 月
鈴木 文雄	昭和50年 4 月～昭和52年 3 月
千葉 光男	昭和52年 4 月～昭和54年 3 月
黒羽 源治	昭和54年 4 月～昭和56年 3 月
西田猛七郎	昭和56年 4 月～昭和58年 3 月
鈴木 文雄	昭和58年 4 月～昭和60年 3 月

氏 名	在 職 期 間
大沼勇次郎	昭和60年 4 月～昭和62年 3 月
渡辺 健寿	昭和62年 4 月～平成元年 3 月
塩野目省三	平成元年 4 月～平成 3 年 3 月
大和 剛也	平成 3 年 4 月～平成 5 年 3 月
小森 秋三	平成 5 年 4 月～平成 7 年 3 月
和久 誠	平成 7 年 4 月～平成 9 年 3 月
鈴木 初男	平成 9 年 4 月～平成10年 3 月
澤村 紀明	平成10年 4 月～平成11年 3 月
寺門 英俊	平成11年 4 月～平成13年 3 月
檜山 正人	平成13年 4 月～平成14年 3 月
鈴木真樹子	平成14年 4 月～平成15年 3 月
菅間 行雄	平成15年 4 月～平成16年 3 月
村上 進一	平成16年 4 月～平成17年 3 月
寺門 浩章	平成17年 4 月～平成19年 3 月

歴代校医一覧

氏 名	在 職 期 間
寺門 勝雄	明治39年 2月～明治45年 3月
大金鉄五郎	明治45年 4月～大正 4年 3月
小澤鉄五郎	大正 4年 4月～昭和20年 3月
中西憲三郎	昭和20年 4月～昭和25年 3月
澤田 丹次	昭和26年 4月～昭和28年 3月
高沼 道博	昭和28年 4月～昭和53年 3月
阿久津丈夫	昭和28年 4月～昭和33年 3月
石川 保寿	昭和30年 4月～昭和32年 3月
関 三郎	昭和30年 4月～平成 7年 3月

氏 名	在 職 期 間
佐藤 公	昭和32年 4月～昭和37年 3月
石川 則夫	昭和37年 2月～昭和39年 3月
滝田美江子	昭和30年 4月～平成 6年 3月
若林 昌徳	昭和39年 4月～昭和56年 7月
高野 英夫	昭和53年 4月～平成16年 1月
若林 宏雄	昭和56年 8月～平成19年 3月
滝田まり子	平成 6年 4月～平成19年 3月
近藤 克昭	平成16年 2月～平成19年 3月



歴代職員一覽

氏 名	在 職 期 間
川原 モト	明治41年 5 月～明治43年10月
阿久津キン	明治43年10月～明治44年11月
黒羽 サク	大正元年 9 月～大正 4 年 3 月
鹿子畑セイ	大正 4 年 4 月～大正 4 年10月
平野 フク	大正 4 年11月～大正 8 年 2 月
市川 定一	大正 7 年 4 月～大正10年11月
井上 ウメ	大正 8 年 4 月～大正10年 3 月
山口 トキ	大正10年 4 月～大正13年 4 月
奥畑登喜寿	大正10年12月～大正11年 3 月
宮崎 ハツ	大正11年 4 月～昭和 7 年 8 月
米山 光時	大正12年 4 月～昭和 5 年 8 月
荻野目 武	大正13年 4 月～大正15年 3 月
平久井富雄	大正13年 4 月～大正14年 3 月
芳賀 チツ	大正14年 1 月～昭和 3 年 6 月
石川 保	大正14年 4 月～昭和 2 年 9 月
室井 勘作	大正15年 4 月～大正15年 8 月
高瀬 清	大正15年 9 月～昭和 5 年 3 月
澤村登喜寿	昭和 2 年 4 月～昭和 6 年 3 月
長谷川 薫	昭和 2 年10月～昭和 2 年12月
石川 保	昭和 3 年 1 月～昭和12年 8 月
植木 アイ	昭和 3 年 9 月～昭和 4 年 3 月
塩野 貞子	昭和 4 年 4 月～昭和 5 年 8 月
石原 ヒデ	昭和 5 年 9 月～昭和10年 3 月
菅間ヨシエ	昭和 5 年 9 月～昭和 8 年 3 月
上野 俊男	昭和 6 年 3 月～昭和16年 3 月
石川 三男	昭和 6 年12月～昭和15年 4 月
新島 チヨ	昭和 7 年 8 月～昭和 8 年 3 月
塩野 純一	昭和 7 年 8 月～昭和 8 年 3 月
興野 正史	昭和 8 年 3 月～昭和12年 3 月
澤村 テフ	昭和 8 年 3 月～昭和20年 7 月

氏 名	在 職 期 間
鈴木 マツ	昭和10年 3 月～昭和13年 3 月
大野 丈夫	昭和10年 5 月～昭和13年 3 月
石井 庄平	昭和13年 4 月～昭和14年 3 月
岡本 武男	昭和13年 3 月～昭和14年 3 月
阿久津 進	昭和13年 3 月～昭和14年 3 月
関口 ヨネ	昭和13年 3 月～昭和15年 3 月
山根 ツウ	昭和14年 3 月～昭和15年 3 月
阿美 美芳	昭和14年 3 月～昭和15年 3 月
大垣 重義	昭和14年 3 月～昭和16年 3 月
田村 ハマ	昭和14年 4 月～昭和14年 8 月
関根 ミワ	昭和14年 4 月～昭和31年 8 月
小川 テル	昭和15年 3 月～昭和15年 8 月
小川 トク	昭和15年 5 月～昭和16年 3 月
青木 ハル	昭和15年 3 月～昭和16年 3 月
鈴木 弘	昭和15年 3 月～昭和17年 3 月
薄井 クニ	昭和15年 9 月～昭和18年 3 月
宮嶋千代子	昭和16年 3 月～昭和18年 3 月
星 ヒノ(秋田)	昭和16年 1 月～昭和20年 8 月
鈴木 アサ	昭和16年 3 月～昭和19年 3 月
生井 价	昭和16年 3 月～昭和22年 3 月
大森 商	昭和16年 3 月～昭和21年 3 月
阿久津マサ	昭和17年 3 月～昭和26年 4 月
平野 コト	昭和17年 3 月～昭和20年 3 月
菅澤 実	昭和17年 3 月～昭和19年 3 月
荒川 幸子	昭和18年 3 月～昭和22年 1 月
小口美奈子	昭和18年 3 月～昭和22年10月
高野 芳実	昭和18年 3 月～昭和19年 3 月
平井 晴竜	昭和18年 8 月～昭和20年 3 月
田村 清夫	昭和19年 3 月～昭和22年 4 月
滝田 實	昭和19年 3 月～昭和21年 4 月

氏 名	在 職 期 間
生井 幸夫	昭和19年 9 月～昭和22年 4 月
塩田 政子	昭和20年 7 月
平野 ナツ	昭和20年 3 月～昭和25年 3 月
小林 美代	昭和20年 3 月～昭和31年 3 月
川堀田鶴子	昭和20年 3 月～昭和22年 3 月
小林 喜一	昭和20年 9 月～昭和25年 3 月
滝田 清	昭和20年11月～昭和24年 3 月
大山 英一	昭和21年 3 月～昭和28年 4 月
平野ユキイ	昭和21年 3 月～昭和21年 8 月
増子 武夫	昭和21年 8 月～昭和22年 4 月
荒井 司	昭和22年 1 月～昭和22年 4 月
小森 敏男	昭和22年 3 月～昭和22年 4 月
山本 和子	昭和22年 4 月～昭和23年 3 月
澤村 修	昭和22年10月～昭和23年 5 月
荒井 仲衛	昭和23年 6 月～昭和26年 4 月
高木君三郎	昭和24年 3 月～昭和26年 4 月
宮崎 忠子	昭和24年 3 月～昭和34年 4 月
生井 幸夫	昭和25年 3 月～昭和33年 4 月
川俣 ノブ	昭和25年 3 月～昭和27年 4 月
菊地 久枝	昭和26年 4 月～昭和34年 4 月
横川 忠男	昭和26年 4 月～昭和33年 4 月
秋葉 喜兵	昭和26年 4 月～昭和32年 4 月
大貫千代子	昭和27年 4 月～昭和28年 4 月
仲山 綾子	昭和28年 4 月～昭和30年 4 月
阿見トク(小峰)	昭和30年 4 月～昭和36年 4 月
平野 利子	昭和31年 1 月～昭和32年 3 月
山崎ヒサ子	昭和31年 4 月～昭和38年 4 月
相馬スミイ	昭和31年 9 月～昭和31年10月
大貫 隆子	昭和31年10月～昭和37年 4 月
相馬 恒男	昭和32年 4 月～昭和38年 4 月

氏 名	在 職 期 間
仲山 豊	昭和32年 4 月～昭和43年 3 月
久郷 弘子	昭和32年 4 月～昭和40年 3 月
斎藤 和男	昭和33年 4 月～昭和37年 4 月
川上 浪子	昭和33年10月～昭和34年 4 月
川堀 幸子	昭和34年 4 月～昭和44年 3 月
関谷 安子	昭和34年 4 月～昭和37年 4 月
石戸アヤ子	昭和34年 5 月～昭和34年12月
鈴木 フミ	昭和35年 1 月～昭和42年 8 月
桧山 純子	昭和36年 4 月～昭和42年 3 月
吉沢ウタ子	昭和36年 6 月～昭和36年12月
樋山 節子	昭和37年 4 月～昭和45年 3 月
上野 登	昭和37年 4 月～昭和41年 3 月
角田 ミイ	昭和37年 5 月～昭和39年 3 月
清水 才治	昭和38年 4 月～昭和41年 3 月
野田 美枝	昭和38年 4 月～昭和43年 3 月
渡辺 フミ	昭和39年 4 月～昭和45年 3 月
高野 静夫	昭和40年 4 月～昭和40年 9 月
鈴木 五月	昭和40年 4 月～昭和41年 8 月
磯 松雄	昭和41年 4 月～昭和46年 3 月
小室 保	昭和41年 4 月～昭和44年 3 月
桧山いみ子	昭和41年 9 月～昭和43年12月
大橋 吉子	昭和42年 4 月～昭和48年 3 月
澤村 タネ	昭和42年 9 月～昭和46年 3 月
石川 敏子	昭和43年 4 月～昭和44年 3 月
山崎 仲衛	昭和43年 4 月～昭和46年 3 月
岡本加代子	昭和44年 1 月～昭和45年 7 月
龍福 恵子	昭和44年 4 月～昭和49年 3 月
大間 ヤイ	昭和44年 4 月～昭和46年 3 月
笠井 忠雄	昭和44年 4 月～昭和46年 3 月
生井 葉子	昭和45年 4 月～昭和60年 3 月

氏 名	在 職 期 間
粕谷 ミイ	昭和45年 4 月～昭和52年 3 月
荒井 栄子	昭和45年 8 月～昭和50年 3 月
伊伝トヨ子	昭和46年 4 月～昭和54年 3 月
川原 三郎	昭和46年 4 月～昭和53年 3 月
佐藤 亮子	昭和46年 4 月～昭和51年 3 月
小室 琢洋	昭和46年 4 月～昭和51年 3 月
相田 欣司	昭和46年 4 月～昭和54年 3 月
佐野シズエ	昭和48年 4 月～昭和55年 3 月
黒羽千恵子	昭和49年 4 月～昭和52年 3 月
沼田 よし	昭和49年10月～昭和51年 3 月
佐藤まさ子	昭和50年 4 月～平成 2 年 3 月
野田 弘和	昭和51年 4 月～昭和57年 3 月
仲山 文代	昭和51年 4 月～昭和58年 3 月
小高伸一郎	昭和51年 4 月～昭和54年 3 月
平井 時子	昭和52年 4 月～昭和57年 3 月
北條多喜子	昭和52年 4 月～昭和58年 3 月
瀬尾 義美	昭和53年 4 月～昭和54年 3 月
斎藤 友子	昭和54年 4 月～昭和59年 3 月
川村 トメ	昭和54年 4 月～昭和57年 3 月
高野 一之	昭和54年 4 月～昭和56年 3 月
小林 薫	昭和54年 4 月～昭和63年 3 月
町井宗三郎	昭和55年 4 月～昭和58年 3 月
阿久津恵子	昭和55年 4 月～昭和57年 3 月
檜山 秀雄	昭和56年 4 月～平成元年 3 月
岡崎 郁	昭和57年 4 月～昭和59年 3 月
吉川 英二	昭和57年 4 月～平成 2 年 3 月
堀江 文雄	昭和57年 4 月～昭和62年 3 月
橋本 尚子	昭和57年 4 月～昭和61年 3 月
生井 良子	昭和57年 4 月～平成元年 3 月
岡 享子	昭和58年 4 月～昭和61年 3 月

氏 名	在 職 期 間
池澤 洋子	昭和58年 4 月～平成 5 年 3 月
坂本 勉	昭和58年 4 月～昭和63年 3 月
東原 一郎	昭和59年 4 月～昭和62年 3 月
大谷ヒデ子	昭和59年 4 月～平成元年 3 月
小島とし子	昭和60年 4 月～平成 3 年 3 月
小森 伸子	昭和60年 7 月～昭和61年 3 月
田代 敏江	昭和61年 4 月～平成 3 年 3 月
大山 君代	昭和61年 4 月～平成 2 年 3 月
浅野 友衛	昭和62年 4 月～平成元年 3 月
小林 弘志	昭和62年 4 月～平成10年 3 月
沢村久美子	昭和63年 1 月～昭和63年 4 月
鶴見三代子	昭和63年 3 月～昭和63年 5 月
大木 君子	昭和63年 6 月～昭和63年 7 月
久郷 暢之	昭和63年 4 月～平成 4 年 3 月
小口 正志	昭和63年 4 月～平成 3 年 3 月
小池 健	平成元年 4 月～平成 3 年 3 月
小口 操	平成元年 4 月～平成 5 年 7 月
村上 信子	平成元年 4 月～平成10年 3 月
山村佳代子	平成元年 4 月～平成 3 年 3 月
滝口 節子	平成 2 年 4 月～平成 9 年 3 月
小林 容子	平成 2 年 4 月～平成 5 年 3 月
鈴木 光子	平成 2 年 4 月～平成 3 年 3 月
根本 寿子	平成 2 年 6 月～平成 3 年 3 月
荒井みち子	平成 2 年 6 月～平成 3 年 3 月
菊地 陽子	平成 2 年10月～平成 3 年 3 月
野田 純子	平成 3 年 4 月～平成 8 年 3 月
小幡 浩幸	平成 3 年 4 月～平成 5 年 3 月
栗田 敏江	平成 3 年 4 月～平成 9 年 3 月
遅沢 久蔵	平成 3 年 4 月～平成 4 年 3 月
五味渕正行	平成 3 年 4 月～平成 7 年 3 月

氏 名	在 職 期 間
劔持 誉	平成4年4月～平成7年3月
山崎ヒサ子	平成4年4月～平成5年3月
吉田 友美	平成4年5月～平成5年3月
黒須 陽子	平成5年4月～平成8年3月
小室 保	平成5年4月～平成6年3月
吉澤 里美	平成5年4月～平成9年3月
吉川 和幸	平成5年4月～平成14年3月
小泉 哲也	平成5年9月～平成8年3月
矢板 仙子	平成7年1月～平成8年3月
〃	平成11年4月～平成11年12月
齋藤和津英	平成7年2月～平成8年3月
小口 信一	平成7年4月～平成11年3月
駒場 勲夫	平成7年4月～平成11年3月
田邊美代子	平成8年4月～平成18年3月
駒場あおい	平成8年4月～平成19年3月
神長恵津子	平成9年4月～平成16年3月
野澤幸知恵	平成9年4月～平成12年3月
小森 幸子	平成9年4月～平成12年3月
小林 政子	平成9年4月～平成17年3月
佐藤 康隆	平成9年9月～平成10年8月
〃	平成10年10月～平成11年3月
荒井 博子	平成10年4月～平成13年3月
佐藤 幸枝	平成10年4月～平成16年3月
磯 重昭	平成11年4月～平成18年3月
小川 正人	平成11年4月～平成13年3月
藤田 和代	平成11年4月～平成12年3月
服部 正子	平成11年12月～平成13年1月
山村 敏明	平成12年4月～平成16年3月
河又 真美	平成12年4月～平成15年3月
飯塚 牧子	平成13年4月～平成16年3月

氏 名	在 職 期 間
川又 信昭	平成13年4月～平成16年3月
横田 正宏	平成14年4月～平成19年3月
池澤 明朗	平成14年4月～平成15年1月
小森 貞子	平成14年4月～平成15年3月
中澤 典子	平成15年4月～平成19年3月
藤井志保美	平成15年4月～平成16年3月
高田 美紀	平成15年10月～平成15年12月
樋山さおり	平成16年1月～平成16年3月
〃	平成17年4月～平成19年3月
高野多起男	平成16年4月～平成17年3月
坂本 紀子	平成16年4月～平成19年3月
釜井 利明	平成16年4月～平成19年3月
佐藤文美枝	平成16年4月～平成19年3月
蓮見てる子	平成16年4月～平成19年3月
金子 和広	平成16年4月～平成17年3月
池田 康人	平成16年9月～平成17年3月
滝原 一夫	平成17年4月～平成19年3月
安藤いづみ	平成17年4月～平成19年3月
大森 智美	平成17年4月～平成19年3月
増子 幸代	平成17年4月～平成18年3月
磯田 路枝	平成17年10月～平成17年12月
田口 智子	平成18年4月～平成19年3月
大森 健史	平成18年4月～平成19年3月
神長 千秋	平成18年4月～平成19年3月



児童数推移

年度	学級数	在籍児童数	備考
明治37	1	67	年限4年 野上尋常小学校
38	1	67	
39	1	67	
40	1	73	
41	1	85	年限5年
42	2	118	年限6年
43	2	129	
44	2	131	
45	2	102	
大正2	2	105	
3	2	105	
4	2	114	
5	2	108	
6	2	122	
7	3	138	
8	3	131	
9	3	144	
10	3	147	
11	3	156	
12	3	167	
13	小3 高1	154 55	野上尋常 高等小学校
14	小3 高2	149 102	向田尋常 高等小学校
15	小3 高2	154 101	
昭和2	小3 高2	157 106	
3	小3 高2	167 114	
4	小3 高2	154 125	
5	小3 高2	177 97	
6	小3 高2	170 89	
7	小3 高2	173 113	
8	小3 高2	181 120	
9	小3 高2	171 127	
10	小4 高2	191 120	
11	小4 高2	191 133	
12	小4 高2	199 125	
13	小4 高3	206 136	

年度	学級数	在籍児童数	備考
昭和14	小4 高3	202 130	
15	小5 高2	202 112	
16	小5 高3	196 153	向田村 中央国民学校
17	小5 高4	188 172	
18	小6 高4	203 156	
19	小6 高4	195 168	
20	小6 高4	241 172	
21	小6 高4	245 163	
22	6	243	向田村立野上小学校 男 117 女 126
23	6	232	118 114
24	6	227	115 112
25	6	223	109 114
26	6	222	95 127
27	6	219	93 126
28	6	200	84 116
29	6	209	鳥山町立野上小学校 92 117
30	6	215	93 122
31	6	203	94 109
32	6	226	116 110
33	6	233	122 111
34	6	238	120 118
35	6	206	103 103
36	6	205	104 101
37	6	210	110 100
38	6	187	95 92
39	6	182	94 88
40	6	174	95 79
41	6	173	93 80
42	6	162	87 75
43	6	165	84 81
44	6	154	81 73
45	6	148	75 73
46	6	145	男 68 女 77
47	6	140	68 72

年度	学級数	在籍児童数	備考
昭和48	6	136	72 64
49	6	129	73 56
50	6	148	78 70
51	6	147	78 69
52	6	159	89 70
53	6	160	90 70
54	6	184	96 88
55	6	191	新校舎落成 99 92
56	6	200	106 94
57	6	223	112 111
58	6	219	108 111
59	6	216	106 110
60	6	209	108 101
61	6	207	103 104
62	6	187	91 96
63	6	187	91 96
平成元	6	175	89 86
2	6	171	87 84
3	6	172	85 87
4	6	162	82 80
5	6	161	84 77
6	6	152	78 74
7	6	163	77 86
8	6	145	66 79
9	6	135	57 78
10	6	139	56 83
11	6	131	49 82
12	6	124	45 79
13	6	119	46 73
14	6	123	48 75
15	6	118	49 69
16	6	105	46 59
17	6	113	那須鳥山市立野上小学校 51 62
18	6	113	53 60

思い出写真集

～大正～昭和の始め～



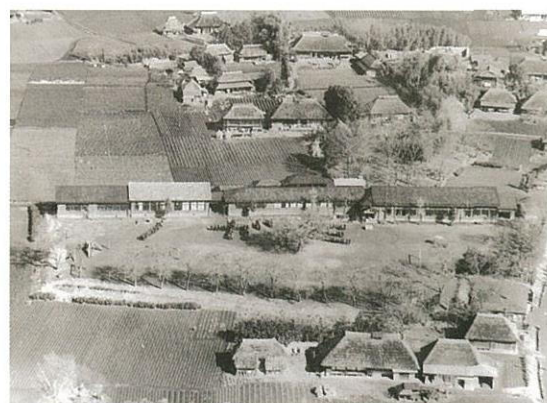
授業風景



連合大運動会



旧校門



旧校舎全景



昭和22年

～昭和50年代～ 旧校舎～新校舎へ



体育の授業風景



かえでの木の下で



昭和50年 8月 プール完成



校訓



昭和54年 8月11日伐採 樹齢約百年



昭和54年 校舎改築



現在の校舎

～平成18年度～ **野上っ子ががんばる!!**



新しい一年のはじまり



入学式



交通安全教室



英語活動



夏休みも やさしく かしく たくましく



プール活動



秋季連合大運動会



みんなで育てた花いっぱいの野上小



かえで祭



県音楽祭出場

写真 株式会社フォトライフ



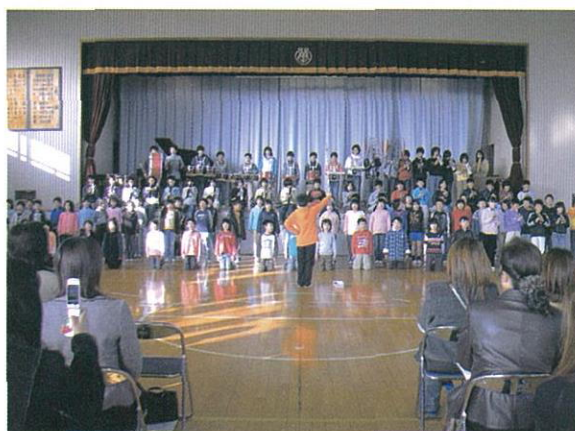
読書祭



寒さに負けず元気な野上っ子



マラソン大会



音楽発表会



野上っ子発表会

教育目標

「明るく 清く たくましく」

- (1) 思いやりのある子 (やさしい子)
- (2) 進んで勉強する子 (かしこい子)
- (3) 元気に運動する子 (たくましい子)



野上小学校閉校記念誌

平成19年 3 月

発 行 那須烏山市立野上小学校

閉 校 準 備 委 員 会

印 刷 (有) 吉 成 印 刷



NOGAMI ELEMENTARY SCHOOL